

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第23号 2009.2

きれいな町を
みんなでするん



地域の イベント情報

3月

クリーン古利根大作戦【宮代町】

日 3月1日 8時～

場 町に隣接する古利根川及び備前堀川の河川敷の一部

内 河川敷の清掃活動

名 宮代町コミュニティ協議会
(コミュニティセンター進修館内)

コミュニティまつり【本庄市】

日 3月14日・15日

場 本庄市コミュニティセンター内

内 団体活動の展示、発表

名 本庄市コミュニティ協議会
(本庄市コミュニティセンター内)

マークの説明

日...開催日 場...開催場所 内...内容

名...市町村協議会名等

イベント情報について詳しく知りたい方は4ページをご覧ください。

主な内容

P2 11月14日に平成20年度県民の日
記念式典が行われました!

あしたのまち・くらしづくり活動賞
優秀賞受賞団体活動紹介

・子育てネット・ぽっぽはうす

P3 40回記念
シラコバト賞の歴史を振り返る!

P4 地域の絆

～広域で地域の美化を推進

「行幸湖・大島新田調節池クリーン大作戦」～

お知らせ

「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。
詳細については事務局へお問い合わせください。

彩の国コミュニティ協議会 会員 & 賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局までご連絡ください。

会員

企業会員・団体会員

会費：企業 1口 5,000円を2口以上
団体 1口 5,000円を1口以上

賛助会員

個人

会費：1口 2,000円

賛助会員だけの入会特典

「コバトンはかわい
いから、みんなが
大好き!」

入会記念として

コバトンストラップ又は
コバトン在バッチ(2個)を
プレゼント!

11月14日に



平成20年度 県民の日記念式典が行われました!

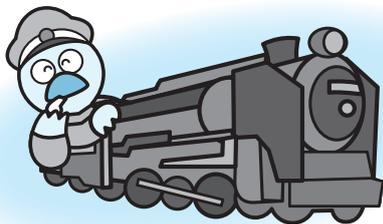
去る11月14日 に埼玉会館にて「平成20年度県民の日記念式典」が開催されました。式典では、当協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 上田 清司 埼玉県知事から賞状、副賞の盾が授与されました。

他にも知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰なども行われ、大勢の方に御参列いただき華やかな式典となりました。



県民の日フリー乗車券

県内各鉄道会社にご協力いただき、「県民の日」に限り各鉄道会社ごとに乗り放題になる「県民の日フリー乗車券」の発売が行われ、多くの方にご利用いただきました。



あしたのまち・くらしづくり活動賞

あしたのまち・くらしづくり活動賞は住みよい地域社会をめざし、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果を挙げられた住民集団・企業等に贈呈されるものです。

本年度は、優秀賞を1団体、奨励賞を2団体が受賞されました。

優秀賞

子育て支援活動部門

子育てネット・ぽっぽはうす(杉戸町)

奨励賞

まち・くらしづくり活動部門

八潮市商工会 クリーン・プロジェクト委員会(八潮市)
加須市くらしの会(加須市)

あしたのまち・くらしづくり活動賞 優秀賞受賞団体

「子育てネット・ぽっぽはうす」は、多彩な活動を行っている子育て支援団体で、幼児からシニアまで、地域や世代を超えた幅広い個人及び家族会員で構成されています。

多彩な活動の中から、まずは活動を開始した2004年3月から行っているサロン活動について御紹介します。



【赤ちゃんサロン：多くの方が参加し交流を深めています。】

当初は乳幼児の子をもつ親を対象に月に1回サロンを開催していました。

しかし、活動を重ねるうちに、一口に乳幼児と言っても0歳児と1歳児では母親たちの不安や悩みも違うことに気づきました。

そこで、母親たちのニーズに応え、0歳児の子の親を対象とした「赤ちゃんサロン」を月2回、1歳児の子の親を対象とした「子育てサロン」、対象を定めない「おしゃべり広場」をそれぞれ月1回開催することとしました。

サロンでは、1人で来た親でも決して孤独にさせないことを方針に掲げており、様々な場面で声をかけ、親身になって話を聞き、楽しんでもらうようにしています。それにより、参加者、リピーターも増え、毎回15~20組の親子が参加しており親同士の交流も広がっています。

開催にあたっては、4名のスタッフと学生ボランティア、臨時で先輩ママにも協力してもらいながら支援体制を整えています。スタッフはあくまでも「支援者」であり、支援者の枠を超えた言動をとらないように気を付けています。

また、食物アレルギーの子をもつ親を対象にした「アレルギーサロン」を開催し、専門家を招いての講演会等も行うなど、同じ悩みを持つ親同士の情報交換、勉強の場を提供しています。

子育てネット・ぽっぽはうす

地域密着型の子育て支援ネットワークづくり

乳幼児を対象としたサロン活動を行う一方で、小学生のための「お菓子作り教室」や「親子里山体験」なども企画しています。

「お菓子作り教室」は月に1回開催していますが、リピーターも多く、毎回定員オーバーの大盛況です。「親子里山体験」では、指導者としてシニアの方に協力いただき、親子で工作や昔の遊び体験など、普段できないようなことを体験してもらっています。

これらの活動では、大学生やシニアのボランティアの参加もあり、世代間交流の促進や先代の知恵、技の伝承にも繋がっています。

これ以外にも会員交流会や地域のコミュニティ市「くすのきエコDAY」への参加や、新たな事業として親たちが楽しく夕食作りを行う「わいわいクッキング」など多くの活動を行っています。



【小学生のお菓子作り教室：年上の子と年下の子が仲良くお菓子作り。】

「ぽっぽはうす」では、親が子どもをあるがままに受け入れて子育てできる環境を整えることに重きを置いています。そのために、活動の中で積極的に会話に参加し、新たに取り組むべき課題を見つけ、次の活動につなげています。

今後も新たな課題に対応し、信頼される活動を息長く続けていきたいと思

子育てネット・ぽっぽはうす連絡先

ホームページ <http://www.13.ocn.ne.jp/pastel/>



40回
記念

シラコバト賞の歴史を振り返る!

シラコバト賞は今回で40回を迎えました。そんなシラコバト賞の歴史を振り返りましょう!

シラコバト賞とは??

シラコバト賞は、日常、身近なところで、住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を地道に続けている個人及び団体等に贈呈し、その活動と功績を顕彰するとともに地域活動の促進を図るために昭和44年に制定されました。

なぜ「シラコバト」賞か??

県民運動の目的が住みよい郷土を築くことにあるところから、「県民の鳥」として親しまれ、県東部地域を中心に生息する国の天然記念物「シラコバト」に拠ったものです。



シラコバト賞受賞者は何人??

現在、平成20年度までに7,210件の個人・団体を表彰しています。

第1回の昭和44年は当協議会の前身である「あすの埼玉をつくる県民運動推進協議会」で表彰を行っており、当協議会としては昭和54年の設立以来、5,952件を表彰してきました。

第1回シラコバト賞

昭和44年第1回シラコバト賞は小中学校や企業など、27の個人・団体が受賞されました。

現在対象になっている活動のほか、楽しく買物ができる環境をつくる運動なども対象になっていたようです。



副賞の盾について

現在、受賞者の方には表彰状と副賞の盾を贈呈しています。盾には鋳物でできたメダルがついており、賞の名称の由来となった「シラコバト」が描かれています。

当初は横長の盾でしたが、現在は縦長の盾を贈呈しており、メダルのデザインもシラコバトが1羽から2羽になっています。

今後も年月とともにデザインの変更があるかもしれませんね。

表彰式



現在、表彰は県民の日記念式典にて行われていますが、昭和44年から47年までは「県民運動推進大会」で行われていました。この大会では、講演会や事例発表、ママさんコーラス等のアトラクションが行われていたようです。



当初贈呈していた盾



現在贈呈している盾

第40回シラコバト賞

今回も皆様の御協力により沢山の推薦をいただき、その中から、清掃活動や郷土芸能の伝承など、さまざまな活動をされている個人138名、団体62のみなさまが受賞されました。

また、県民の日記念式典においては、受賞者のみなさまを代表して4名の方に登壇いただき、上田 清司会長から表彰状と副賞の盾が授与されました。登壇いただいたのは下記の個人・団体です

健やかな心身を育てる活動

山家 正義 氏 (志木市)

ボーイスカウト活動指導者として「思いやりの心」の大切さを指導し、青少年の健全育成に貢献している。



【山家さんはスカウトの制服で登壇されました。】

受賞の感想

長年にわたる活動は、多くの良き指導者がいたからこそであり、この受賞も一人での受賞とは思っておりません。これからも良き指導者として青少年の健全育成に努めていきたいです。

住みよいふるさとをつくる活動

手芸クラブ・ゆうゆう (戸田市)

古布等をリサイクルして作成した手提げ袋等を販売し、収益を寄付する等の活動を11年間行っている。また、地域高齢者の交流の場を提供し地域に貢献している。



【にこやかに握手を交わす代表の平林さん。】

受賞の感想

まだまだ活動歴の浅い当会が受賞でき、会員一同感謝しています。これからも会員みんなで地域の方々と支え合い、楽しい交流を継続していきたいと思っています。

心のふれあいを深める活動

ボランティアサークル はなみずき (吉川市)

心身障害者地域デイケア施設において清掃や作業補助、各種事業への参加支援等を行っている。また市内小中学校での福祉体験支援を行うなど地域福祉に貢献している。

受賞の感想

報われることを一切期待しない地道なボランティア活動において、このような賞を授かったことは、一同にとりまして無上の喜びです。今後一層活動に精進したいと存じます。

郷土を知り、郷土を想う活動

阿佐見 和三 氏 (さいたま市)

自然愛護思想の普及を目的に、園芸講座や市民団体に活動を続けるなど、地域の緑化推進に貢献している。

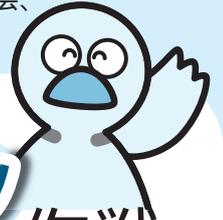
受賞の感想

傘寿の年に受賞することとなり、私でいいのかと自身を反省しきり。今までのこと、これからのことがあるんだと感謝の一言でした。数多い受賞者の方の中から代表として登壇したことは、名誉のことであり、良い記憶の一頁であると存じます。



地域の **きずな**
第3回 **絆**

コミュニティ活動は地域住民や地域団体、企業等様々な団体のつながりで支えられています。そんな地域のつながり=「絆」を1年間の連載を通じ皆様にお伝えしていきます。連載3回目は、市町と県と市町コミュニティ協議会、そして他県へ広がる広域的な協働です。



広域で地域の美化を推進

行幸湖・大島新田調節池 **クリーン** 作戦

きっかけは行幸湖に散乱していた「ごみ」



【行幸湖クリーン作戦】

沢山お越しになっています。幸手市と幸手市コミュニティづくり推進協議会では、この行幸湖のクリーン作戦を平成7年度から実施しています。

事業のきっかけとなったのは、行幸湖の周囲に捨てられた大量のごみでした。せっかく住民の憩いの場として整備されても、気持ちよく過ごすことができない環境では意味がありません。それまでも他の市民団体や地域の方による清掃活動が行われていましたが、改めて地域の方や市民団体に参加を呼びかけ、清掃活動を行うことで、新たな地域の財産である行幸湖の美化を図るとともに、参加者の環境に対する意識を高めることができるものと考え、市で実施に向けた検討を始めました。

事業の検討にあたり、行政が一方的に企画運営するのではなく、市民団体と協同することで、活動の輪をひろげていきたいという想いがありました。そこで、コミュニティ活動の充実を目的とし、多くの市民団体が加盟する幸手市コミュニティづくり推進協議会との共催を考え、事務局から役員会に提案し、ご理解をいただくことができました。事業運営には、収集したごみの処理など行政側が対応しなければならない部分もありますが、各種団体への呼びかけや、当日の進行などは協議会が主体となり行っています。

広域での取り組み

行幸湖は幸手市だけでなく、栗橋町や茨城県五霞町にまたがる広大な調節池です。事業を検討する中で、次に考えたのは幸手市側だけを清掃するのではなく、行幸湖全域的な取り組みにすることで、より大きな成果が得られるのではないかとということでした。そこでまず、同じ県内の栗橋町にご相談したところ、突然の提案であったにも関わらず、賛同を得ることができました。また施設を管理する埼玉県杉戸県土整備事務所の支援も得られることになり、栗橋町、栗橋町コミュニティ協議会、杉戸県土整備事務所が共催として加わり、平成7年から事業を開始しました。

その後、対岸の茨城県五霞町も加わり、現在では1市2町で約1,500名の方が参加する事業として継続しています。この事業には毎回、それぞれの首長も参加し、幸手市、栗橋町、五霞町のエリアごとに清掃活動を行いながら、行幸湖中央に位置する「船渡橋」で合流、住民相互の交流を深めるセレモニーを行っています。



大島新田調節池でも実施



【大島新田クリーン作戦】

行幸湖クリーン作戦を実施する傍ら、当市の南部に位置する大島新田調節池でもクリーン作戦を実施しては、という声が地域の方からあがりました。大島新田調節池は倉松川の治水施設として設置され、普段はサッカーなどが楽しめるレクリエーション施設としても利用されていますが、残念なことにこちらにも空き缶等のごみが目立つ状況でした。

そこで、幸手市と幸手市コミュニティづくり推進協議会で事業の検討を始めました。行幸湖クリーン作戦と同様、広域で取り組むことでより大きな成果があげられると考え、まずは調節池に接する杉戸町と、調節池の管理を行う埼玉県杉戸県土整備事務所に相談しました。幸い杉戸町と杉戸県土整備事務所のご理解を得ることができ、平成13年から杉戸町・杉戸町コミュニティ協議会・杉戸県土整備事務所との共催で事業を行っています。

この事業は毎年、幸手・杉戸合同で開会式を行い、両市町の首長参加のもと、区域を分担して清掃作業を行っています。平成20年度はあわせて約500名の方に参加いただきました。

さらに活動の充実を

これらの事業は、単に地域の美化を図るだけでなく、市町の枠を越えて、それぞれの住民が同じ目的のために共に行動することに大きな意義があるものと考えています。今後も共催団体・自治体と協力して、活動の充実にも努めていきたいと思えます。

幸手市コミュニティづくり推進協議会事務局
幸手市市民生活部くらし安全課
電話 0480-43-1111



コミュニティマップのご案内 県内のイベント情報が盛りだくさん!

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップをご覧になりたい方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局 表紙下記参照までへお送りください。

